

第3節 光化学スモッグによる汚染の現況

第1 光化学スモッグ発生の概況

光化学スモッグ予報等については、府域における気象要素、オキシダント濃度の時間的变化、測定局の設置状況等を考慮して府域を7地域に区分し、その地域におけるオキシダント濃度に応じて光化学スモッグ予報、注意報等を発令することとしている（図2-1-5、表2-1-20及び第3部第2章第5節「光化学スモッグ対策の推進」参照）。

府域における光化学スモッグの発生状況を、光化学スモッグ予報等の発令回数及び延べ発令時間並びに光化学スモッグによる被害の訴え状況からみると、予報等の発令回数及び延べ発令時間は、近年減少の傾向にあり、昭和55年度においても予報12回、延べ39時間40分、注意報10回、延べ28時間20分でいずれも前年度に比べて減少している。被害の訴え人数は325人で、昭和48年度のピーク時（3,122人）に比べると大幅に減少している（表2-1-21）。

発令回数及び延べ発令時間を地域別にみると、発令回数は、東大阪地域が予報11回、注意報9回とそれぞれ最も多く、延べ発令時間も予報38時間、注意報26時間10分とそれぞれ最も長くなっている（表2-1-22及び表2-1-23）。

また、大阪管区气象台が発表する光化学スモッグ気象情報については、昭和55年度では前年度より1回多い9回発表されているが、その翌日の光化学スモッグ予報等の発令状況は4回で、予報・注意報の発令がなかったのは5回であった（表2-1-24）。

図2-1-5 光化学スモッグ予報等の発令地域区分(昭和55年度)

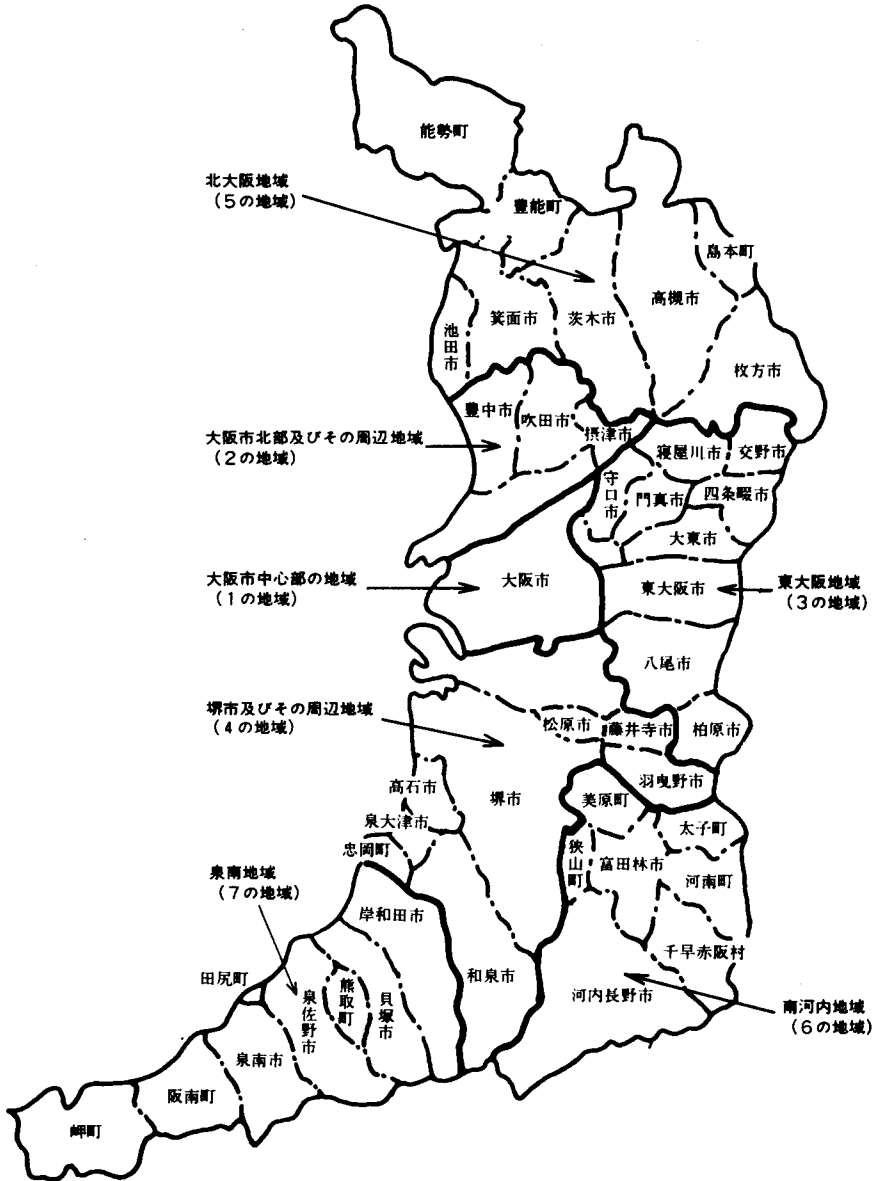


表2-1-20 オキシダント（光化学スモッグ）の緊急時発令基準

呼 称	発 令 基 準
光化学スモッグ予報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.08 ppm以上で、かつ、気象条件からみて注意報の発令基準に達すると考えられるとき、又は、測定点の測定値等から判断して注意報の発令基準に達すると認められるとき
光化学スモッグ注意報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.12 ppmに達した場合、又は、測定点の測定値等から判断して大気の汚染がこれらの場合と同程度であると認める場合であって、かつ、気象条件からみて当該大気の汚染の状態が継続すると認められるとき
光化学スモッグ警報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.24 ppmに達した場合、又は、測定点の測定値等から判断して大気の汚染がこれらの場合と同程度であると認める場合であって、かつ、気象条件からみて当該大気の汚染の状態が継続すると認められるとき
光化学スモッグ重大緊急警報	当該地域の基準測定点のうち1点のオキシダント濃度が0.40 ppmに達し、かつ、気象条件からみて当該大気の汚染の状態が継続すると認められるとき

(注) 1 基準測定点等は次のとおりである。

(1) 基準測定点

公害監視センター、堀江小学校、勝山中学校、今宮中学校、此花区役所、難波中学校、淀中学校、淀川区役所、豊中市役所、吹田保健所、守口保健所、寝屋川市役所、布施保健所、東大阪市東支所、八尾保健所、大宮中学校、聖賢小学校、茨田北小学校、摂陽中学校、南稜中学校、府立大学、少林寺小学校、浜寺中学校、松原市役所、藤井寺市役所、泉大津保健所、高石中学校、枚方市役所、高槻市役所、茨木市役所、池田市役所、富田林市消防署、長野小学校、泉南府民センター、泉佐野保健所、貝塚市消防署

(2) 測定点

淀屋橋、摂津市役所、大東市役所、府立修徳学院、堺市役所、三宝小学校、金岡小学校、高石市公害監視センター、羽衣学園、高陽小学校、取石小学校、国府小学校、王仁公園、島本町役場、泉南市役所、岬町役場

2 この基準は、昭和53年4月1日から実施している。

表2-1-21 年度別光化学スモッグ発生状況

年度 区分 項目	昭48			50			51			52			53			54			55			
	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分	被害の 訴え 回数	予報 注意報 回数	予報 時間分		
年間発令・発生数	48回	26回	1回	3,122人	48回	25回	42回	25回	176人	33回	25回	41人	21回	16回	77人	13回	12回	378人	12回	10回	325人	
年間延べ発令時間	時間分 229:10	時間分 123:20	時間分 2:00	時間分 149:50	時間分 76:30	時間分 154:30	時間分 73:30	時間分 112:50	時間分 67:40	時間分 112:50	時間分 67:40	時間分 72:45	時間分 39:40	時間分 46:00	時間分 33:00	時間分 46:00	時間分 33:00	時間分 39:40	時間分 28:20	時間分 39:40	時間分 28:20	
4月	0	0	0	83	0	0	2	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5月	4	1	0	239	4	2	5	6	4	14	2	1	0	4	1	0	1	2	2	1	0	
6月	9	5	0	870	10	8	67	6	3	148	7	7	4	4	3	0	1	0	4	3	325	
7月	17	10	0	1,769	10	7	212	10	5	0	8	7	37	6	6	74	1	1	296	3	0	
8月	9	8	1	132	8	2	0	9	5	0	9	5	0	5	5	2	7	6	3	0	0	
9月	5	1	0	12	6	4	6	6	3	0	5	3	0	1	1	1	3	3	77	3	0	
10月	4	1	0	17	1	0	0	3	3	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
最も早い発令 (発令)日	5月1日	5月1日	8月11日	4月23日	5月12日	5月23日	4月27日	4月27日	4月27日	5月11日	6月9日	5月13日	5月27日	7月6日	5月25日	5月25日	5月25日	5月25日	5月12日	5月12日	5月29日	6月6日
最も遅い発令 (発令)日	10月10日	10月2日	8月11日	10月3日	9月26日	9月26日	10月13日	10月15日	10月15日	10月15日	7月27日	10月3日	9月18日	9月21日	9月21日	9月21日	9月21日	9月20日	9月19日	9月19日	9月19日	6月12日
1日最高の 被害の訴え	1,246人 (7月5日)	200人 (7月19日)	117人 (6月29日)	33人 (7月8日)	53人 (7月19日)	243人 (7月6日)	324人 (6月6日)															
被害の訴えの概況	156件	24件	9件	3件	11件	12件	6件															
入院被害	1人 (7月9日)																					
オキシダント の測定点	43	50	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52

表2-1-22 光化学スモッグ予報等地域別発令回数・
延べ発令時間の状況(昭和55年度)

(時間:分)

区 分		地 域						
		1の地域	2の地域	3の地域	4の地域	5の地域	6の地域	7の地域
予 報	発 令 回 数	2	3	11	4	7	1	2
	延べ発令時間	8:40	9:30	38:00	15:20	22:00	5:10	9:10
注 意 報	発 令 回 数	1	2	9	4	6	0	2
	延べ発令時間	4:20	6:20	26:10	12:10	15:40	0	7:40

- (注) 1 注意報の回数及び延べ発令時間はいずれも予報の回数及び延べ発令時間に含まれる。
2 発令地域の区分は次表のとおりである。

地域区分		地 域 の 区 分
区分の略称		
1の地域	大阪市中心部の地域	大阪市の区域のうち、西淀川区、東淀川区、淀川区、旭区、鶴見区、城東区、住吉区、住之江区、東住吉区及び平野区の地域を除く地域
2の地域	大阪市北部及びその周辺地域	大阪市の区域のうち、西淀川区、東淀川区及び淀川区の地域並びに豊中市、吹田市及び摂津市の地域
3の地域	東大阪地域	大阪市の区域のうち、旭区、鶴見区及び城東区の地域並びに守口市、門真市、寝屋川市、交野市、四条畷市、大東市、東大阪市、八尾市及び柏原市の地域
4の地域	堺市及びその周辺地域	大阪市の区域のうち、住吉区、住之江区、東住吉区及び平野区の地域並びに堺市、松原市、藤井寺市、羽曳野市、高石市、泉大津市、和泉市及び忠岡町の地域
5の地域	北大阪地域	枚方市、高槻市、茨木市、箕面市、池田市、島本町、能勢町及び豊能町の地域
6の地域	南河内地域	富田林市、河内長野市、美原町、狭山町、太子町、河南町及び千早赤阪村の地域
7の地域	泉南地域	岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南町、熊取町、田尻町及び岬町の地域

表 2-1-23 光化学スモッグ予報等発令状況 (昭和55年度)

年 月 日	曜 日	発令時刻～解除時刻	発令時間	(号)		発 令 地 域
				子 報	注 意 報	
昭55.5.12	月	12:10～13:50	1:40	1		2.3.
55.5.29	木	14:00～16:40	2:40	2		2.3.4.
		14:40～16:40	2:00		1	2.3.4.
55.6.5	木	13:20～16:00	2:40	3		3. 5.
		14:00～16:00	2:00		2	3. 5.
55.6.6	金	11:00～16:10	5:10	4		1.2.3.4.5.6.7.
		11:50～16:10	4:20		3	1.2.3.4.5. 7.
55.6.12	木	12:00～16:40	4:40	5		3.
		12:40～16:40	4:00		4	3.
55.6.13	金	13:00～14:50	1:50	6		3. 5.
55.7.17	木	14:00～16:40	2:40	7		3. 5.
		14:40～16:40	2:00		5	3. 5.
55.7.20	日	14:10～15:50	1:40	8		5.
		14:40～15:50	1:10		6	5.
55.7.21	月	11:40～16:50	5:10	9		3. 5.
		12:40～16:50	4:10		7	3. 5.
55.9.3	水	11:50～15:50	4:00	10		3.
		13:00～15:50	2:50			5.
		13:00～15:50	2:50	8		3.
		13:50～15:50	2:00			5.
55.9.17	水	13:50～17:20	3:30	11		1. 3.4.
		14:50～17:20	2:30		9	3.4.
55.9.19	金	13:10～17:10	4:00	12		3.4. 7.
		13:50～17:10	3:20	10		4. 7.
		14:50～17:10	2:20			3.

表2-1-24 光化学スモッグ気象情報発表状況（昭和55年度）

年月日	曜日	気象情報(号)	発表時刻	翌日の発令状況	
				予報(号)	注意報(号)
昭55. 5.18	日	1	16:20		
6. 4	水	2	16:20	3	2
6. 5	木	3	16:20	4	3
6.12	木	4	16:20	6	
6.13	金	5	16:20		
7.20	日	6	16:20	9	7
7.21	月	7	16:20		
9. 3	水	8	16:20		
9.14	日	9	16:20		

回数 \ 年度	昭 51	52	53	54	55
年度別気象情報	31	27	22	8	9
発表回数	(31)	(27)	(22)	(8)	(9)

(注) ()内は府域に係る発表回数である。

第2 光化学スモッグ発生の経年変化と気象状況

オキシダントによる汚染状況の年度別推移を月別のオキシダント最高濃度（1時間値）についてみると、昭和55年度においては前年度に比べやや高くなっている。また、オキシダント高濃度日数の推移をみても、昭和55年度においては8月には高濃度の出現日数が少ないものの4～10月の合計では前年度に比べてやや増加している（表2-1-25）。

気象状況の推移をみると、日最高気温の月平均値、月別日照時間・日照率、日降水量が0.5mm以上の月別日数及び月平均風速は表2-1-26のとおりである。

昭和55年度の特徴をみると、4月は低温傾向でオキシダント濃度も低かったが、5～6月は昨年と比べ高濃度の出現日数が多く、特に6月は、2日の梅雨入りの後は梅雨前線の活動が弱かったので晴天・高温の日が目立ち、日最高濃度0.20 ppmを記録した日もあった。7月は、20日の梅雨明けの頃一時高濃度オキシダントが出現した日が

あったが、その後、8月にかけては記録的な冷夏となり、日照不足・低温傾向でオキシダント濃度が高まった日は少なく、8月には緊急時等の発令が一度もなかった。9月は天気が周期的に変化し、高濃度の日もあったが10月は全般的にオキシダント濃度は低かった。

表2-1-25 オキシダントによる汚染状況の推移

(1) 年度別、月別オキシダント最高濃度

ア 全測定点

(単位：ppm)

年度	区分	月								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の最高値	
昭48	濃度	0.15	0.22	0.20	0.22	0.25	0.16	0.18	0.25	
	測定点	府大	高石市	東淀川	藤井寺	河内長野	浜寺	浜寺	河内長野	
50	濃度	0.14	0.16	0.18	0.19	0.20	0.18	0.16	0.20	
	測定点	浜寺	茨木	茨田北 堺	藤井寺	淀中	泉南	淀中	淀中	
51	濃度	0.16	0.17	0.18	0.18	0.17	0.14	0.17	0.18	
	測定点	茨田北	柏原	柏原	吹田 衣	難波	高陽	枚岡	柏原	
52	濃度	0.15	0.13	0.18	0.17	0.19	0.17	0.14	0.19	
	測定点	府大	府大、貝塚	府センター 泉	大東、高陽	取石	泉佐野	府センター 高陽、泉佐野	取石	
53	濃度	0.16	0.20	0.18	0.19	0.20	0.17	0.16	0.20	
	測定点	茨木	大東	大東	大東	柏原	茨木	柏原	大東、柏原	
54	濃度	0.15	0.15	0.16	0.16	0.18	0.17	0.12	0.18	
	測定点	金岡	守口	寝屋川 本	大東	守口	取石 泉佐野	堀江、摂陽 泉佐野	守口	
55	濃度	0.14	0.14	0.20	0.16	0.17	0.17	0.13	0.20	
	測定点	大東	寝屋川	大東、守口	茨木 寝屋川	大東	柏原	取石 富田	大東、守口	

イ 基準測定点

(単位：ppm)

年度	区分	月								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の最高値	
昭48	濃度	0.15	0.17	0.20	0.22	0.24	0.16	0.18	0.24	
	測定点	府大	守口	東淀川	藤井寺	寝屋川	浜寺	浜寺	寝屋川	
50	濃度	0.14	0.16	0.18	0.19	0.20	0.17	0.16	0.20	
	測定点	浜寺	茨木	茨田北	藤井寺	淀中	泉佐野	淀中	淀中	
51	濃度	0.16	0.16	0.17	0.18	0.17	0.14	0.17	0.18	
	測定点	茨田北	泉佐野	貝塚	吹田	難波	堀江、摂陽 泉佐野、貝塚	枚岡	吹田	
52	濃度	0.15	0.13	0.18	0.16	0.17	0.17	0.14	0.18	
	測定点	府大	府大、貝塚	府センター	茨田北 茨	寝屋川 泉佐野	泉佐野	府センター 泉佐野	府センター	
53	濃度	0.16	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.13	0.18	
	測定点	茨木	枚方	岸和田	枚岡、枚方 池	八尾、浜寺	茨木	八尾	枚方	
54	濃度	0.11	0.15	0.16	0.15	0.18	0.17	0.12	0.18	
	測定点	府大	守口	寝屋川	池田	守口	泉佐野	堀江、摂陽 泉佐野	守口	
55	濃度	0.12	0.14	0.20	0.16	0.15	0.16	0.13	0.20	
	測定点	寝屋川 枚方	寝屋川	守口	茨木 寝屋川	泉佐野	枚方、府大 南	富田	林守口	

(注) 1 オキシダント濃度測定法改定に伴い、昭和52年度以前の測定値については0.8を乗じ、近似的に新測定法に基づく値に換算してある。

2 測定点名は略称で次表のとおりである。

3 測定点数は次のとおりである。

(全測定点数：48年度：43点、50年度：50点、51~55年度：52点)
(基準測定点数：48年度：30点、50年度：35点、51~55年度：36点)

略称	測定点名	略称	測定点名	略称	測定点名
府センター	府公害監視センター	大東	大東市役所	高陽	高陽小学校
堀江	堀江小学校	柏原	府立修徳学院	取石	取石小学校
難波	難波中学校	府大	府立大学	茨木	茨木市役所
淀中	淀中学校	浜寺	浜寺中学校	枚方	枚方市役所
東淀川	東淀川区役所	摂陽	摂陽中学校	池田	池田市役所
吹田	吹田保健所	南稜	南稜中学校	島本	島本町役場
守口	守口保健所	藤井寺	藤井寺市役所	河内長野	河内長野市役所
布施	布施保健所	泉大津	泉大津保健所	長野	長野小学校
枚岡	東大阪市東支所	堺市	堺市役所	岸和田	泉南府民センター
八尾	八尾保健所	金岡	金岡小学校	泉佐野	泉佐野保健所
寝屋川	寝屋川市役所	高石市	高石市役所	貝塚	貝塚市消防署
茨田北	茨田北小学校	羽衣	羽衣学園	泉南	泉南市役所

(2) オキシダント高濃度日数

ア 日最高濃度が0.12ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	3	4	8	18	11	7	3	54
50	3	6	11	12	16	8	3	59
51	5	7	8	11	10	5	5	51
52	3	4	8	14	11	11	6	57
53	1	11	9	11	11	3	1	47
54	0	4	4	4	10	4	3	29
55	1	6	8	6	5	7	1	34

イ 日最高濃度が0.16ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	0	1	5	7	7	1	1	22
50	0	1	3	4	3	1	1	13
51	1	1	2	2	1	0	2	9
52	0	0	5	2	3	1	0	11
53	1	2	2	3	3	1	0	12
54	0	0	1	0	3	2	0	6
55	0	0	2	2	0	3	0	7

ウ 日最高濃度が0.20ppm以上であった日数

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
昭 48	0	0	1	2	4	0	0	7
50	0	0	0	0	1	0	0	1
51	0	0	0	0	0	0	0	0
52	0	0	0	0	0	0	0	0
53	0	0	0	0	0	0	0	0
54	0	0	0	0	0	0	0	0
55	0	0	1	0	0	0	0	1

(注) 1 6～20時の値を基準測定点で集計してある。

(48年度：30点、50年度：35点、51～55年度：36点)

2 オキシダント濃度測定法の改定に伴い、昭和52年度以前の測定値については0.8を乗じ、近似的に新測定法に基づく値に換算してある。

表 2-1-26 気象状況の推移 (大阪管区气象台)

(1) 日最高気温の月平均値(℃)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の平均
昭 48	21.4	23.3	26.4	33.2	33.0	27.0	22.0	26.6
50	19.1	24.3	27.8	32.3	31.9	30.6	22.1	26.9
51	19.2	23.2	26.8	30.4	31.7	27.0	22.3	25.8
52	20.4	24.2	26.6	32.6	32.3	29.9	25.2	27.3
53	19.3	24.5	28.1	34.0	34.5	29.9	23.1	27.6
54	18.4	24.2	28.6	30.6	33.5	29.1	24.5	27.0
55	18.7	24.6	27.8	29.7	30.6	27.4	22.7	25.9

(2) 日照時間(時間)、日照率(%)

年度 \ 月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の 合計 平均
昭 48	日照時間	180.7	240.2	185.2	272.3	190.3	142.3	1,370.9
	日照率	46	56	43	62	46	38	48
50	日照時間	164.4	205.3	162.1	215.7	219.6	221.4	1,315.0
	日照率	42	48	38	49	53	60	46
51	日照時間	168.3	194.2	135.5	213.9	225.4	168.1	1,288.6
	日照率	48	45	31	49	54	45	46
52	日照時間	199.5	228.7	119.6	225.2	182.6	180.9	1,371.8
	日照率	51	53	28	51	44	49	48
53	日照時間	202.8	204.2	195.1	280.2	279.1	171.6	1,510.9
	日照率	52	47	45	64	67	46	53
54	日照時間	181.5	261.1	177.5	183.8	223.5	146.6	1,382.6
	日照率	47	61	41	42	54	39	49
55	日照時間	192.5	221.3	128.2	145.3	118.4	180.3	1,151.7
	日照率	49	51	30	33	28	49	41

(注) 日照率 = $\frac{\text{日照時間}}{\text{可照時間}} \times 100(\%)$

(3) 日降水量が0.5mm以上の日数(日)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の合計
昭 48	13	6	10	2	8	13	10	62
50	15	14	12	14	8	13	14	90
51	11	12	18	10	12	14	9	86
52	15	9	15	7	9	13	3	71
53	10	9	14	5	3	11	8	60
54	17	9	13	8	8	16	6	77
55	12	13	14	16	19	12	13	99

(4) 平均風速(m/s)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	4~10月の平均
昭 50	3.6	3.6	3.0	3.1	3.5	2.8	3.0	3.2
51	3.0	3.2	3.1	3.1	3.3	3.2	3.1	3.1
52	3.5	3.3	3.1	2.7	3.7	3.1	2.7	3.2
53	3.5	3.2	3.1	2.9	3.5	3.5	3.1	3.3
54	3.7	3.3	3.4	3.2	3.3	3.0	2.9	3.3
55	3.1	3.2	2.7	2.9	3.0	3.0	3.2	3.0

- (注) 1 表の数値は「大阪府気象年報」、「大阪府気象月報」による。
 2 4~10月の平均値は4~10月の値を平均化したものである。
 3 月平均風速については、昭和50年から測器が変更されたため、それ以降についてのみ示してある。

第3 光化学スモッグによる被害の訴えの状況

1 被害の訴え状況

昭和55年度における光化学スモッグによると思われる被害の訴えの届出数は、6件、325名であった。これは48年度(156件、3,122名)のピークに比べると大幅に減少し、また、54年度(12件、378名)より若干減少した。

本年度において被害の訴え届出があったのは6月6日と6月12日であり、昨年度の最初の届出に比べて11日遅く、最後の届出に比べて約3カ月早かった。

2 オキシダント緊急時発令日及び地域別被害の訴え届出状況

本年度の被害の訴え届出6件とも光化学スモッグ注意報の発令中であった。また、地域別には、4の地域(堺市及びその周辺)の1件283名が被害の訴え人数の大半を占め、次いで2の地域(大阪市北部及びその周辺)で1件21名、5の地域(北大阪)で1件13名、3の地域(東大阪)で3件8名の被害の訴え届出があった(表2-1-27)。

3 被害の訴え届出者とその症状

被害の訴え届出者325名のうち、小学生は13名(4.0%)で中学生は301名(92.6%)であり、高校生は4名(1.2%)、教職員3名(1.0%)、戸外作業従事者4名(1.2%)であった。

被害の訴えの主な症状は、「目がチカチカする」で、316名(97.2%)が眼の刺激症状を訴えた。他の症状では、「涙がでる」6名(1.8%)、「のどがいらい」5名(1.5%)、「頭痛」4名(1.2%)などであった。いずれも、洗眼、うがい、短時間の休息で回復し一過性のものであった。

表2-1-27 被害訴えの届出と光化学スモッグ予報等の発令状況（昭和55年度）

月日 (曜)	被害の訴え届出状況						発令状況				オキシダント濃度 最高値等
	人数	件数	内容				予報		注意報		
			地域	市	内訳	人数	号	発令地域	号	発令地域	
6.6 (金)	324	5	3	東大阪市	大阪商業大学 附属高等学校	4	4	全域	3	1・2 3・4 5・7	①0.12ppm 布施保健所 12時
					枚岡郵便局	3					①0.12ppm 東大阪市 東支所 14時
			2	豊中市	第13中学校	21					①0.10ppm 豊中市役所 12時
			5	池田市	神田小学校	13					①0.11ppm 池田市役所 13時
			4	大阪市	白鷺中学校	283					①0.18ppm 摂陽中学校 11時
											②0.20ppm 大東市役所 14時
6.12 (木)	1	1	3	東大阪市	枚岡郵便局	1	5	3	4	3	①0.11ppm 東大阪市 東支所 14時 ②0.20ppm 守口保健所 12時

(注) ①は被害訴え場所の最寄測定点の最高値、②は府下全域での最高値を示す。